

●Topics…山形大学医学部附属病院 地域連携会を開催  
●取組案内1…第二内科 ●取組案内2…遺伝カウンセリング室

附属病院の最新の医療を紹介する広報誌VOL.25が出来上がりました。これを機会に当院の医療を知っていただき、地域のリソースとして有効に活用していただければと思います。

Topics

## 山形大学医学部附属病院 地域連携会を開催

山形大学医学部附属病院地域連携会を10月28日、山形市パレスグランデールにおいて開催しました。この連携会は、地域医療機関と密に連携を図り、風通しのよい関係を築いていくために、特定機能病院である当院の特性や機能を知って頂き、連携を一層強化することで、地域医療水準の向上を目指し、県内54の病院・診療所の先生方から出席頂き開催しました。

土谷順彦病院長の挨拶で開会し、山形県医師会 間中英夫副会長からご挨拶を頂きました。当院からの情報提供として、佐藤啓東日本重粒子センター診療部長より「重粒子センターにおける治療対象疾患と紹介方法」並びに、塩野知志第二外科副科長より「当院におけるロボット支援下手術の現状」の講演を行いました。何れも複数科で実施している治療の現状をお伝えしました。また、4年ぶりの連携会開催のため、診療科への理解を深めることを目指し、各診療科による2分間PRスピーチを行いました。次に、「山形大学医学部附属病院に望むこと」と題してパネ

ルディスカッションを開催しました。パネリストに上市市医師会 原田一博会長、北村山地区医師会 八鍬直会長、山形市医師会 山口佳子副会長をお迎えし、土谷病院長、渡辺地域医療連携センター長と活発な意見交換を行いました。その中で、紹介患者、救急受入れ等への要望に対し、今後、大学病院の役割と地域医療を担う役割を果たす中での検討課題であることが共通理解されました。また、地域医療機関から「受診予約に時間がかかり過ぎる」「当日緊急受診時の対応をスムーズにしてほしい」等の苦情への改善を図り、現在は、15分以内で予約が取れること、また、緊急の場合の各診療科への連携体制を再構築したこともお伝えしました。その後開催された懇親会においても直接意見交換できたことは有意義な時間となりました。今後も、地域の医療機関の皆様との連携を深め、患者さんが安心して医療を受けることが出来る環境づくりに取り組みを進めてまいります。ご出席いただきました皆様に、重ねてお礼申し上げます。



パネルディスカッションの様子



ご参加の先生方との懇談会の様子



## 取組案内 1 第二内科

### 様々な消化器疾患に広く対応しています

第二内科(消化器内科)では、地域医療の中核として高度医療や最先端医療を提供しています。現在、消化管、肝臓、膵胆道の3つのグループに分かれて診療を行っています。

**消化管グループ:**食道、胃、十二指腸、大腸の内視鏡治療の他、小腸カプセル内視鏡やダブルバルーン小腸内視鏡による精査・加療が可能です。炎症性腸疾患や好酸球性消化管疾患の診療にも力を入れています。粘膜下腫瘍や下咽頭癌に対して外科や耳鼻科との協働手術も行っております。

**肝臓グループ:**ウイルス性肝炎の治療をはじめ、肝細胞癌に対するラジオ波焼灼術や、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎などの診断・治療を行っています。ファイブスキャンやMRエラストグラフィを用いた非観血的な肝線維化評価も可能です。静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法も積極的に行っております。

**膵胆道グループ:**膵癌の診療に力をいれており、重粒子線治療の可否に関わらず、診断から術前治療・外科手術まで、カンファレンスで協議して適切な診療を提案します。さらに、術後再建腸管症例に対する小腸内視鏡ガイド下の膵胆道治療は年々増加しています。経口胆道鏡も導入されましたので胆道結石の治療困難例にも対応可能です。

第二内科では、週1回のカンファレンスで情報共有を行いながら各グループが協力して診療を行っております。ご相談がありましたらお気軽にお問い合わせください。



## 取組案内 2 遺伝カウンセリング室

### 遺伝に関するさまざまなお悩みに寄り添います

大学病院では遺伝カウンセリング室を2002年より開設しております。近年の遺伝医療の発展は目覚ましく、また、がんは遺伝子の変異によって発症することが明らかになり、疾患の診断のみならず、治療法の選択にも遺伝学的検査が必要になってきました。そのため、遺伝情報の正確な理解とその結果に対する漠然とした不安への心理社会的な支援が重要になってきます。

遺伝カウンセリング室では、遺伝カウンセリング技術を身につけた臨床遺伝専門医と遺伝カウンセラーが中心となり、患者さんだけでなく、疾患未発症の方やご家族への正確な知識の提供や心理的サポートをおこなっています。

#### ○ご相談内容例

- ・自分の病気が子供に遺伝するか不安
- ・高齢妊娠で胎児のことが心配
- ・自分ががんになり、検査をしたら遺伝性の可能性があるとされた
- ・家系にがん罹患者が多いので話を聞きたい
- ・いとこと結婚を考えている

遺伝カウンセリングをおこなっている施設は東北ではまだまだ数少ないですが、未だタブー視されがちな「遺伝」の悩みを打ち明けることのできる場として、また直面する問題に対し

て正しい知識を得たうえで受容・適応していく過程を助ける場として、まずはお気軽にお問い合わせください。



遺伝カウンセリングの様子

※遺伝カウンセリングは完全予約制で、基本的には自費診療(初回11,000円)となります。

※専門的な診察や検査が必要な場合には専門外来へご紹介いたします。

#### ○お問い合わせ先/遺伝カウンセリング室

TEL: 023-628-5559 (直通)

HP: <https://www.id.yamagata-u.ac.jp/iden/>